

九条ねぎから広がる 新たな農業のあり方

こと京都株式会社

代表者／山田 敏之
住 所／京都市伏見区横大路下三栖里ノ内 30
TEL／075-601-0668
URL／<http://kotokyoto.co.jp/>
事業内容／九条ねぎの生産・加工・販売、
卵生産・販売、
菓子製造・販売、直売所運営

山田社長(右)にカットねぎの加工工程についてご説明いただきました。



農作物本来の良さを伝える 事業展開と顧客創造

株式会社セントラルフルーツ

代表者／田中 勝三
住 所／京都市下京区西七条西八反田町 8
TEL／075-314-0331
URL／<http://www.kyoto-yaoichi.co.jp/>
事業内容／百貨店・スーパーで青果物を販売する専門店

田中社長(右)に京都八百一本館内をご案内いただきました。

おじやまします!

立石会頭の会員訪問レポート 31

立石義雄会頭も、会員の皆さまを訪問し、ご活躍の現場を拝見しています。その様子をご報告します。

今回は、今後の農業のあり方を見つめ直し、野菜や果物の生産・加工・販売までを手掛けて、6次産業化の新たな事業展開に取り組みされている事業所2社を訪問。

こと京都(株)は、農業生産法人として1年を通して栽培できる九条ねぎの生産に特化。なかでもカットねぎに着目し、京都ブランドを活かし全国のラーメン店をはじめ全国チェーンの飲食店に販売を行うなど、生産・加工・販売を一貫して行っています。また、消費者に、ねぎに慣れ親しんでもらうために、九条ねぎのドレッシングやポン酢、更には、京都企業のコラボによる「京の九条の葱の油」など、多くの加工品を開発されています。山田社長は、「品質の良い白ねぎや青ねぎを生産している農家を集め、適正な価格取引で、安定的な供給体制を築いていきたい」という思いからねぎの専門商社「こと日本(株)」を設立。「ねぎで全国のネットワークのつくり方を見出せれば、農業の仕組みを変えることが出来る」とも。2013年より、新規就農者を育成する独立支援研修生制度を実施し、農業経営者として生計をたてていけるような支援も行われています。

(株)セントラルフルーツは、お客様の毎日の食生活をお手伝いするという思いを持って1974年に設立。昔ながらの八百屋さんの思いを大切にした店舗「京都八百」や、半調理野菜を中心に販売している「クック1/2」などのブランドで、全国の百貨店の青果売場を中心に、37店舗を展開しています。また、社員が野菜の奥深さを学べる場を設けるために、農業生産法人として「(株)八百」の郷を立ち上げ、京都と北海道に計5ヶ所の農場を設置。「昔は農業(農家)・流通(八百屋・食(消費者)のバランスが良かったが、今は流通の力が強くなり、農業が流通の下請けになるのではと危惧している」と田中社長。「京都八百」のこだわりのブランド力高める取り組みとして、屋上に里山を意識した農園「六角農場」を備えた「京都八百一本館」を2014年にオープンさせるなど、「野菜が持つ本来の良さ、そして、農業の魅力を伝えたい」と、積極的に事業を進められています。

会頭の
ひとこと

訪問した2社ともに、野菜などが持つ本質を追求し消費者に伝えながら事業を展開されている。農商工連携が注目される中、農業は地方を支える重要な産業であり、本所としても6次産業分野への支援を検討していきたい。